

第10章

付録

●カートリッジについて	182
●音源別アウト端子の使い方	186
●他の機種との互換性	188
●32種類のアルゴリズム	190
●プリセットボイス	192
●お買い上げのときに設定されている パフォーマンス	193
●イニシャライズされた パフォーマンスの設定	197
●イニシャライズされたボイスの設定	198
●メモリーの構成	199
●MIDIデータフォーマット	200
●MIDIインプリメンテーションチャート ..	214
●仕様	215
●パフォーマンスデータブランクチャート	216
●ボイスデータブランクチャート	217

カートリッジについて

カートリッジの種類

TX802で使うことのできるカートリッジには、大きく分けて2種類あります。

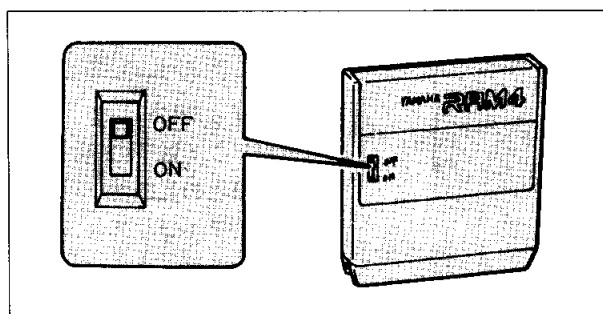
(1) ROMカートリッジ

読み出し専用のカートリッジです。ユーザーがこのカートリッジにボイスやパフォーマンスのデータを保存することはできません。

ボイスやパフォーマンスなどのデータが入っている市販のカートリッジは、一般にこのタイプのカートリッジです。

(2) RAMカートリッジ

ユーザーが自分で作成したボイスやパフォーマンスなどのデータを保存することのできるカートリッジです。メモリープロテクトスイッチがついており、このスイッチをオンにしておくと、データの書き込みができませんので、誤って大切なデータを消してしまうことはありません。



注意

RAMカートリッジ内にはデータを保存するためにバッテリーが入っています。このバッテリーの寿命は約5年ですので、5年に一回はバッテリーの交換を行ってください。

バッテリーの交換はお買い上げ店もしくは弊社電音サービスセンターにご相談ください。

また、バッテリーの交換の際にそのカートリッジに保存されていたデータは消えてしまいますので、あらかじめ本体や別のカートリッジにそのデータを移しておいてください。

さらに上の2つのカートリッジは、それぞれ次の3種類のカートリッジに分けることができます。

(1) 複数バンクタイプのカートリッジ

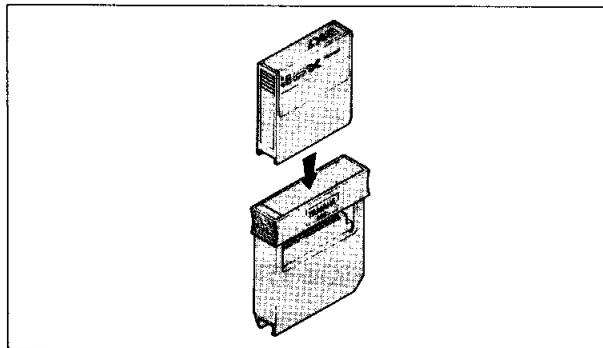
(2) 1バンクタイプのカートリッジ (RAM4など)

(3) 旧DX7用のカートリッジ (RAM1など)

(1)の複数バンクタイプのカートリッジは、(2)の1バンクタイプのカートリッジがいくつも入っているものと考えられます。バンクについては次のページで説明します。

(3)のカートリッジは、大きさがひとまわり小さいので別売のカートリッジアダプター (ADP1) を使ってTX802のカートリッジスロットにセットします。

カートリッジについて



また、このカートリッジとカートリッジアダプターの組合せの場合、TX802では読み出し専用です。データの書き込み（ストア、セーブ）はできません。

バンクとは

「バンク」とはある量のデータを保存することのできる箱のようなものです。

(2)の1バンクタイプのカートリッジには、この箱がひとつ用意されています。(1)の複数バンクタイプのカートリッジにはこの箱がいくつも用意されています。

このバンクには保存できるデータの内容によって、次の3種類があります。

バンクのタイプ	表示	保存できるデータ
(1)TX802タイプ	TX802	64種類のパフォーマンスデータ 64種類のボイスデータ 2種類のマイクロチューニングデータ システムセットアップの設定のデータ
(2)フラクショナルスケーリングタイプ	FKS-Y	64種類のフラクショナルスケーリングデータ
(3)マイクロチューニングタイプ	MTT-Y	63種類のマイクロチューニングデータ

指定されているバンクのタイプにあてはまらないような作業（たとえばマイクロチューニングタイプのバンクにボイスを保存しようとするような）は行うことができませんので注意してください。このような場合は“Cartridge format err!”などとエラーメッセージが表示されます。

カートリッジについて

フォーマット

新しいRAMカートリッジは、「フォーマット」の作業を行わなければ使用することができません。
新しいRAMカートリッジを使用する場合は、必ずこの操作を行います。

このフォーマットの作業で、そのRAMカートリッジのバンクにどんなデータを保存するのかを決定します。TX802の場合は前ページの3種類のいずれかのバンクのタイプを選択します。

フォーマットの作業の方法は 157ページをご覧ください。

参考：DX7IIのRAMカートリッジについて

DX7 II, DX7s でフォーマットした RAMカートリッジ、市販の ROMカートリッジのバンクには次の3種類があります。

バンクのタイプ	表示	保存できるデータ
DX7 II タイプ	DX7-2	64種類のパフォーマンスデータ 32種類のボイスデータ 2種類のマイクロチューニングデータ システムセットアップの設定のデータ
フラクショナルスケーリングタイプ	FKS-Y	64種類のフラクショナルスケーリングデータ
マイクロチューニングタイプ	MTT-Y	63種類のマイクロチューニングデータ

※ DX7用のRAM,ROM カートリッジはバンクタイプ“DX7-1”で、ボイスの呼び出しのみ可能です。

バンクの指定


複数バンクタイプのカートリッジはひとつのカートリッジの中で、自由にバンクのタイプを指定してフォーマットすることができます。

たとえばバンク1とバンク2をTX802タイプに、バンク3とバンク4をフラクショナルスケーリングタイプに、バンク16をマイクロチューニングタイプ……というように設定できます。

このような場合、TX802の方でもカートリッジのどのバンクを何に使うのか設定しなければなりません。この設定の方法については 145ページをご覧ください。

バンク 1	TX802
バンク 2	TX802
バンク 3	FKS-Y
バンク 4	FKS-Y
バンク 16	MTT-Y

カートリッジ

この中で  のバンクを使いたい場合は下のようにバンクの指定を行います。

SYSTEM5> Cartridge bank select

▶TX802= 2 >Frac.scaling= 4 >M.tuning=16

カートリッジについて

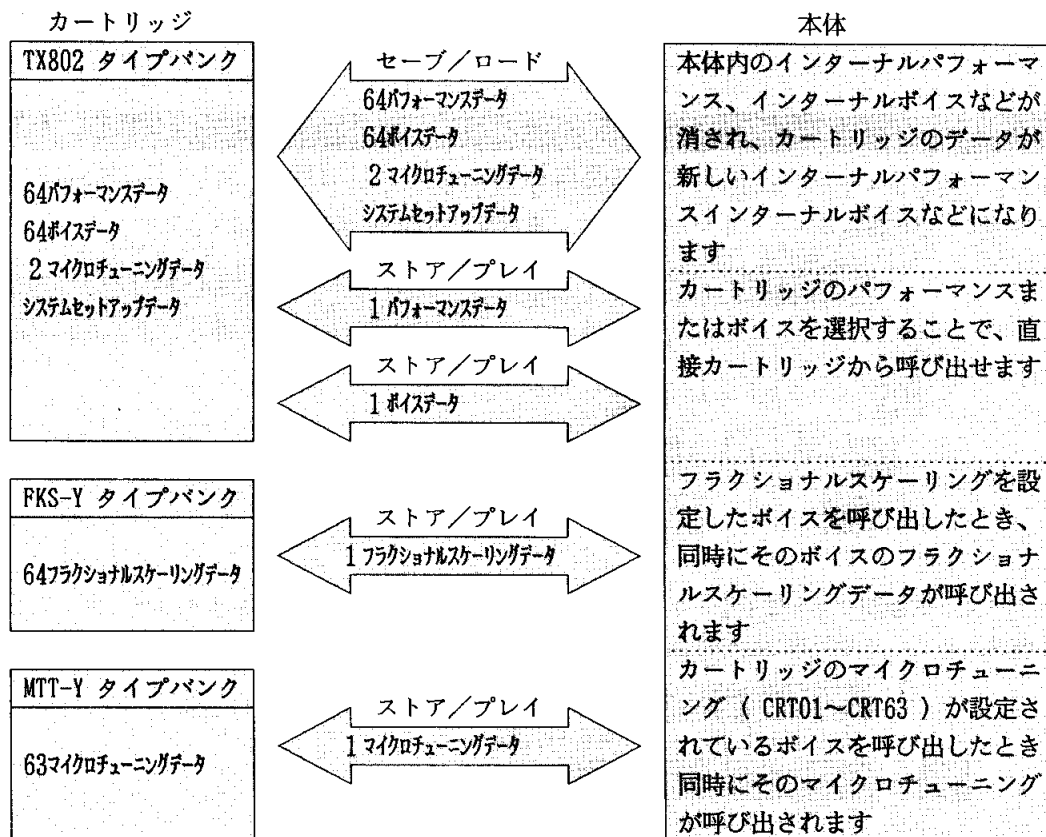
カートリッジと本体のデータの関係

カートリッジは本体内のデータを一時保存するためだけではなく、データによってはロードすることなく使えるものもあります。

カートリッジへのデータの出し入れには次の4種類があります。

- (1) セーブ (Save)
本体内に記憶されているデータのすべてを一度にカートリッジに保存する。
- (2) ロード (Load)
カートリッジにセーブされているデータを本体内メモリーに呼び出す。
- (3) ストア (Store)
作成したひとつのデータを直接カートリッジに保存する。
- (4) プレイ (Play)
カートリッジ内のひとつのデータを直接呼び出す。

カートリッジと本体の各種データの出し入れを図にすると次のようになります。



音源別アウト端子の使い方

音源別アウト端子 (INDIVIDUAL OUTPUT) は TX802の 8つの音源それぞれの音を直接出力する端子です。

TX802では、同じボイス (←) の設定になって音源は平均的に使われます。

たとえば次のようなボイスの設定になっている場合、

VOICE SELECT	<MellowHorn>	Rch=omni
AO1	← ← ← ← ← ← ← ←	

1～8の音源が交互に (状況によって順番は異なりますが) 音を出します。1の音源だけが頻繁に使われるようなことはありません。

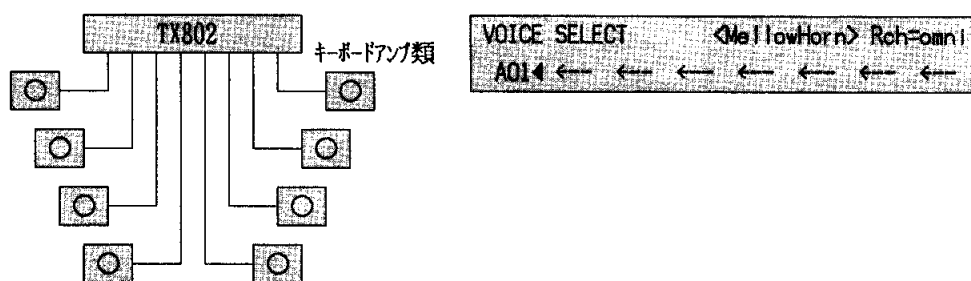
このため、機器の接続方法によってさまざまな使い方が可能になります。

注意

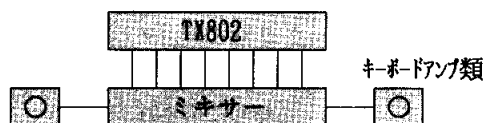
- パフォーマンステディットモードの図の“out”の設定は、音源別アウト端子から出力される音に関係しません。off, I, II, I IIのどの設定の状態でも音源別アウト端子からは音が出力されます。
- パフォーマンステディットモードのその他の設定は、すべてボイス番号の表示されている音源の設定にしたがいます。(たとえば、上の例で1の音源 (AO1) の“Vol”が50に設定されているとすれば、1～8の音源の出力ボリュームはすべて50になります)

音の広がる演奏に

たとえば次のようなボイスの設定で、音源別アウト端子から8つのアンプ、スピーカを接続すると鍵盤を弾くたびに異なるスピーカから音が出て、奥行きのある広い音場の音になります。



もちろん、音源別アウト端子をミキサー (MV802など) に接続し、各チャンネルのパンポット (定位) を変えておくことで同様の効果を出すこともできます。



音源別アウト端子の使い方

マルチトラックレコーディングに

シーケンサーなどを使い複数の楽器の同時演奏を行うとき、楽器別に音を録音したり、エフェクト処理をしたりすることができます。

ボイスの設定

```
VOICE SELECT    <BRASS  1 > Rch=  I
I23< I20  I14  I05  ←  I03  ←  ←
```

ミックスアウト端子の選択

```
PERF. EDIT3> Output assign
off< off  off  I  ←  I  ←  ←
```

このような設定にしておけば、各端子から次のように音出力されます。ミックスアウト端子の選択(out)で offを選択しても音源別アウト端子からは音出力されることを上手に使うと、ミックスアウト端子から特定のボイスだけを出力することが可能となり、余分なミキシングの手間が省けます。

- 音源別アウト端子1 I23
- 音源別アウト端子2 I20
- 音源別アウト端子3 I14
- 音源別アウト端子4、5 I05
- 音源別アウト端子6、7、8 I03
- ミックスアウト端子I I05
- ミックスアウト端子II I03

この中で必要な端子を使って録音、エフェクト処理を行うことができます。

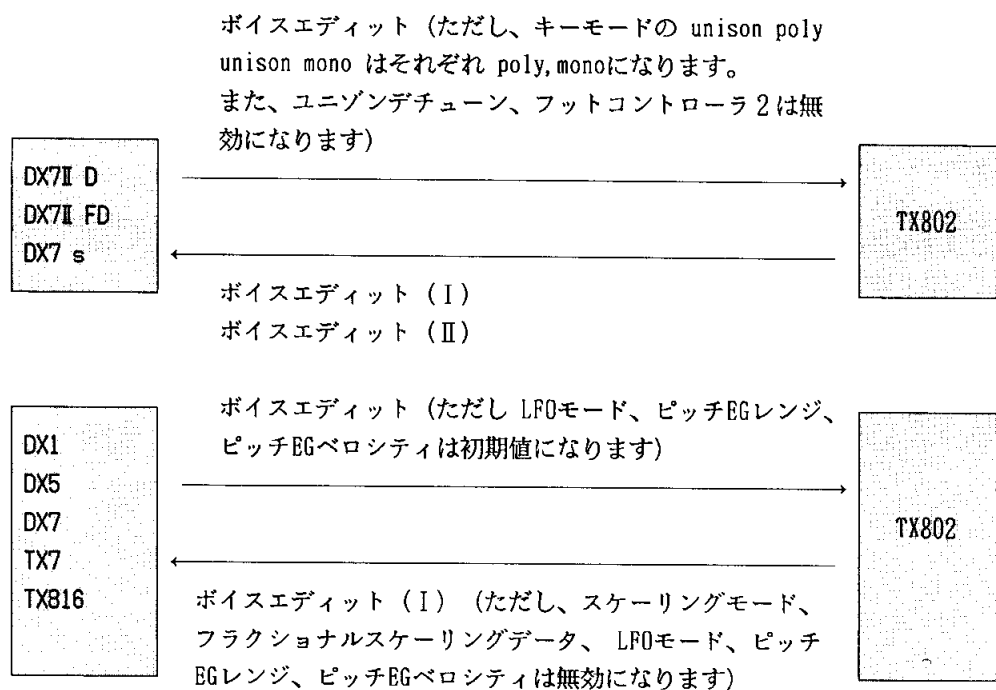
この他にも音源別アウト端子を使うと、さまざまな効果、処理が可能になります。みなさんも自分の機器構成を考えていろいろな使い方にチャレンジしてみてください。

他の機種との互換性

TX802は次の機種とデータフォーマットの互換性を持ち、データの送受信をおこなうことができます。

- DX1
- DX5
- DX7
- DX7II D
- DX7II FD
- DX7 s
- TX7
- TX816
- TX802

ただし機種によっては互換性のないデータもありますので、下の図をご覧ください。



また、DX5 以外の機種では送受信ともにピッチEGの設定によっては、効果が異なる場合があります。

※パフォーマンスデータは他の機種と互換性がありません。（TX802同士での送受信のみ可能です）

※フラクショナルスケーリング、マイクロチューニングのデータは、DX7 II D, DX7 II FD, DX7s と互換性があります。

他の機種との互換性

また、DX7 II などを使って、TX802のデータをエディットすることができます。

このとき、送信側、受信側のデバイスナンバーが一致していなければなりません。デバイスナンバーの設定については 144ページをご覧ください。

●DX7II D, DX7II FD, DX7s からエディットできるパラメーター

ボイスエディット (I) すべて可能

ボイスエディット (II) すべて可能

システムセットアップ マスターチューニングのみ可能

ユーティリティ マイクロチューニングの粗調整(Coarse)、微調整(Fine)のみ可能
(キーの変更は [ENTER] キーを押しながら鍵盤を弾くことで行います)

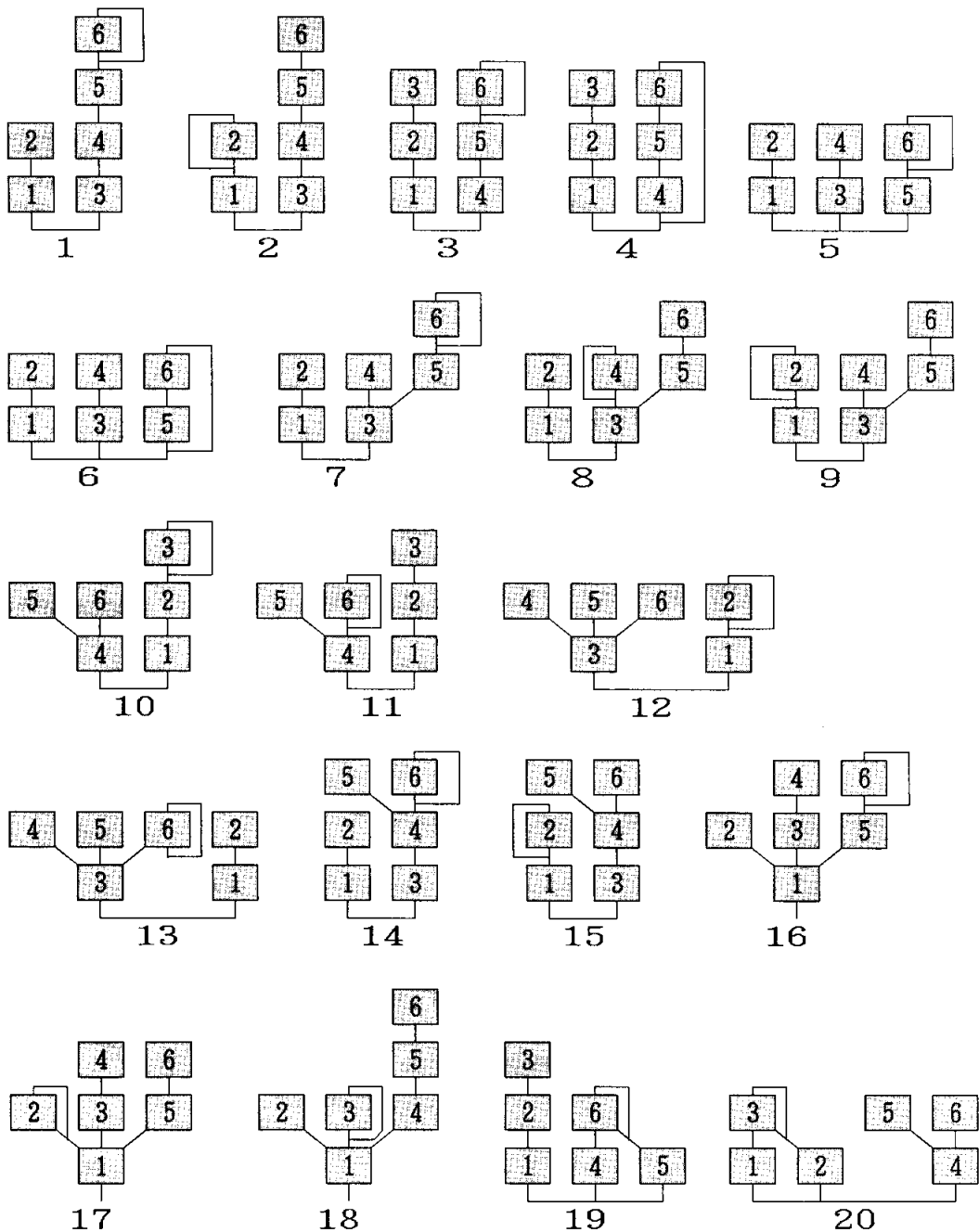
●DX7 からエディットできるパラメーター

ボイスエディット (I) この中で DX7側にあるパラメーターのみエディット可能

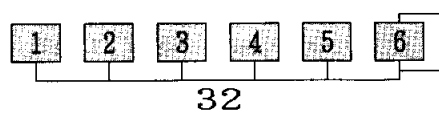
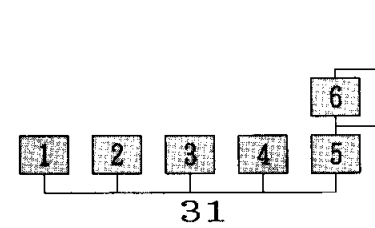
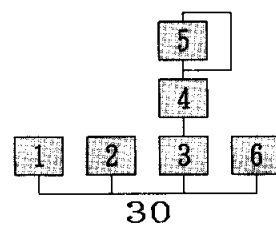
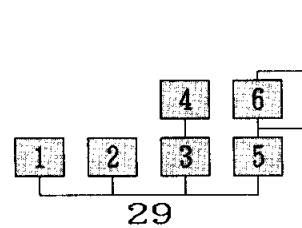
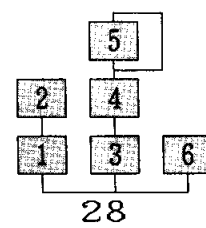
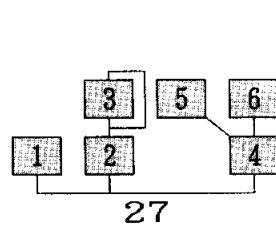
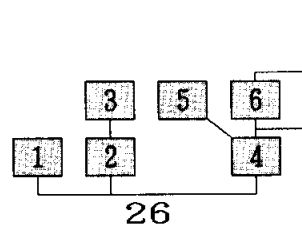
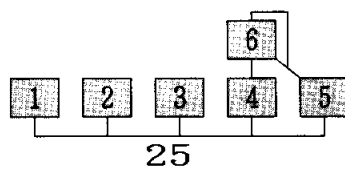
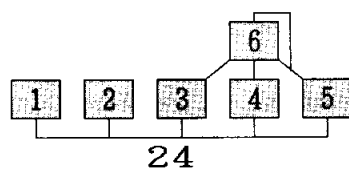
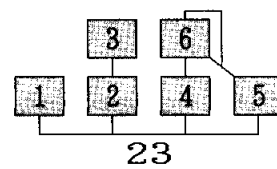
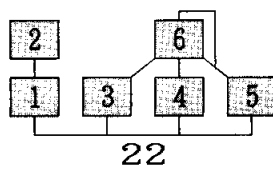
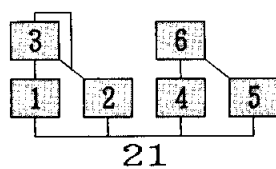
※ DX7はデバイスナンバーの設定ができません。MIDI送信チャンネルがデバイスナンバーを兼ねていますので、TX802のデバイスナンバーを1にしてください。

32種類のアルゴリズム

TX802には次の32種類のアルゴリズムが用意されています。



32種類のアゴリズム



プリセットボイス

TX802であらかじめ用意されているプリセットボイスの種類です。

プリセットボイス A				プリセットボイス B			
A01	MellowHorn	A33	Piano 1	B01	SuperBass	B33	Analog-X
A02	SilvaBrass	A34	Piano 2	B02	StringBass	B34	FMilters
A03	ReverbBras	A35	KnockRoad	B03	SkweekBass	B35	Phasers
A04	Tuba	A36	RubbaRoad	B04	SmoochBass	B36	Ensemble
A05	Trombone	A37	HardRoads	B05	BopBass	B37	MalletHorn
A06	HardTrumps	A38	FullTines	B06	OwlBass	B38	FM-Growth
A07	Trumpet A	A39	ClaviStuff	B07	JazzBass	B39	ElectoComb
A08	SilvaTrmpt	A40	Clavi	B08	HardBass	B40	ClariSolo
A09	Trumpet B	A41	Clavecin	B09	GuitarBox	B41	PitchaPad
A10	FrenchHorn	A42	ClaviPluck	B10	PickGuitar	B42	ClaviBrass
A11	Strings	A43	NasalClav	B11	FingaPicka	B43	WhapSynth
A12	HallOrch	A44	HarpsiBox	B12	LeadaPicka	B44	Whasers
A13	NewOrchest	A45	HarpsiWire	B13	YesBunk	B45	Fifths
A14	Analog-Str	A46	WireStr A	B14	12 Strings	B46	ElecBrass
A15	LiveStrg	A47	WireStr B	B15	Classipika	B47	ElectroBak
A16	BowedBass	A48	TouchOrgan	B16	Shami	B48	HarmoSynth
A17	EleCello A	A49	ShOrgan	B17	Maribumba	B49	PianoBells
A18	EleCello B	A50	TapOrgan	B18	DX Marimba	B50	St. Elmo's
A19	Violins	A51	BriteOrgan	B19	Nu Marimba	B51	MilkyWays
A20	Bassoon	A52	MagicOrg	B20	StonePhone	B52	Pluk
A21	Clarinet	A53	SoftOrgan	B21	VibraPhone	B53	TingVoice
A22	Oboe	A54	PipeOrgan	B22	Celeste	B54	Plukatan
A23	Flute	A55	PuffOrgan1	B23	Swissnare	B55	OctiLate
A24	SongFlute	A56	PuffPipes	B24	Tom C4	B56	LateDown
A25	SpitFlute	A57	PuffOrgan2	B25	CongaDrum	B57	Glastine
A26	PanFlood	A58	Harmonium1	B26	Tub Bells	B58	BellWahh
A27	Piccolo	A59	Harmonium2	B27	Gong	B59	RubberGong
A28	Sax	A60	Whisper A	B28	Timpani	B60	Wallop
A29	Harmonica	A61	Choir	B29	Claves	B61	Explosion
A30	Harp	A62	LadyVox	B30	Bells	B62	KoikeCycle
A31	EbonyIvory	A63	MaleChoir	B31	SteelCans	B63	Thunderon
A32	PianoBrite	A64	Whisper B	B32	Handrum	B64	Science

お買い上げのときに設定されているパフォーマンス

番号	パフォーマンス名	特 長
INT 01	Hall Orchestra	この壮大なストリメングサウンドは、“A11”と“A15”の2種類はこのオルタナティブなミックスで構成されています。
INT 02	Reverb Brass	残響音源5つをミックスした、リバーブ効果の強いサウンドです。
INT 03	Ensemble 1	ブラスの“B36”とストリングスの“S11”をミックスした、アンサンブルサウンドです。
INT 04	Stereo Electric Piano	DXでおなじみのエレクトリックピアノサウンドです。使用しているボイスは“A38”のみです。
INT 05	Acoustic Guitar	“B10”を音源1として、アコースティックギターサウンドを構成しています。
INT 06	Jazz Bass/Piano Spt	ウッドベース“B02”とピアノ“A33”をミックスした、ジャズサウンドです。
INT 07	Live Strings	この広がりを持つストリングスサウンドは、リアルな演奏を再現しています。
INT 08	Percussion Split	鍵盤の両端に異なるパーカッションサウンドを配置しています。
INT 09	Power Brass Ensemble	1音オクターブ上のブラスサウンドをミックスした、パワフルなサウンドです。
INT 10	Spread Piano	“A33”を8音オクターブ広げ、ステレオ効果を出しています。
INT 11	Inside the VLSI.	マイク効果音（平均1/4オクターブ）をミックスした、VLSIサウンドです。
INT 12	Trumpets	アタックの音色を強調した、トランペットサウンドです。
INT 13	FunkBass/E.Piano Spt	チャーター“B38”とエレクトリックピアノ“A33”をミックスした、ファンクサウンドです。
INT 14	Light Choir Whisper	広がりのあるライトコーラスサウンドです。
INT 15	Ensemble 2	ポリリズムのアンサンブルサウンドです。
INT 16	Strings	ブライトなストリングスサウンドです。

お買い上げのときに設定されているパフォーマンス

番号	パフォーマンス名	特 長
INT 17	Funky Clavi	"A40"をデュアルで組み合わせた音色。鍵盤を離すときのクリック音が気に入らないときはオベレクタ3～6の"L4"を0にしてください。
INT 18	Struck Brass	ゆったりとした感じが、まるで曲に合ったように聞こえます。"B41"と"42"をオルタネイトで演奏します。"B42"をオルタネイトで演奏します。
INT 19	Split Electric Organ	61鍵盤のキーボードで演奏します。低音部と高音部に分かれて演奏します。"G3"を境にして高音部と低音部に分けて演奏します。
INT 20	Cellos	低音のストリングス"417" "418"オルタネイトアサインでデュアルボイスで構成されています。INT16と同じように弾くたびに微妙にひびきの変わるサウンドです。
INT 21	Brass Solo	TX802ならではの太いブラス音色です。ソロ用として、またバックアップ用として、はば広い使い方ができるパフォーマンスです。
INT 22	Grand Piano	音源を"A31"に設定しただけのシンプルなパフォーマンスです。音がピアノのように弾ける最大発音数を増やして演奏します。
INT 23	Split Cathedral Org	INT19と同様にブリティッシュのオルガンです。ポイント"43"です。"457"には全音域の音が鳴ります。"455"は低音部側のみです。"454"は高音部側のみです。
INT 24	12 String Guitar	基本となるギターサウンド"409"にもう一本の弦(12弦ギターでの)の音は"441"をミックス。"443"より低域は1オクターブ上を、高域は同じ高さの音になっています。
INT 25	Brass-Band	音色の明るさが微妙に異なる種類のブラスボイスとして使用しています。左右に音が飛ぶサウンドです。
INT 26	Harmonium	学校の教室に置かれていた足踏式のオルガンのシミュレーションです。アタックの速さと抜けの悪さがその特徴を的確にとらえています。
INT 27	Magic Marimba	これは楽しいバフォマニッシュ！単音で弾いてはだめです。3和音で弾いては4種類あります。バフォマニッシュ！単音で弾いてはだめです。3和音で弾いては4種類あります。
INT 28	Theme Vibraphone	かなり金属音の強い、きれいなバイブです。基本となるサウンドは"B21"に高音域の作りだされ、これだけで十分使える音です。"B22"は高い倍音が強調された音です。
INT 29	Woodwind Quartet	4種類の木管楽器が音域別に分かれて演奏します。まず、"C2"より低域は"A20"のバスーン。"C4"は"421"のクラリネット。"G3"は"424"のフルート。"44"より上は"A22"のオーボエになります。
INT 30	Male Vocals	フォルマントが強調された"A61"とメロ的な"A63"をオルタネイトアサインしても、弾くたびに音色が微妙に異なります。
INT 31	Harpsichord	"445"と"A47"によるデュアルサウンド。さらに"A45" "447"によるオルタネイトアサインによるかなり重厚なハープコードになっています。
INT 32	Bell Wahh	鍵盤を弾くとベルの音が鳴ります。そのまま鍵盤を押さえ続けると男性のコーラスとして複雑なサウンドで鳴ります。"B58"のデュアルサウンドです。
INT 33	Rock Piano	基本となるのは"A33"のピアノ音色です。音源4～8を基本として10音ボリフオニは弾くこの音の定位が変化します。"446"を加えています。

お買い上げのときに設定されているパフォーマンス

番号	パフォーマンス名	特 長
INT 52	Elmo Whispers...	コーラス系の“A60”と、鈴のような“B50”のデュアルボイスパフォーマンスです。“B50”はオルタネイトアサインによって、弾くたびに音の定位置が移動します。コーラスエフェクターをかけてみたい音色です。
INT 53	Bass/ElecBrass Splt	“F#3”より低域は“B05”によるベース音色。“G3”より高域はフルート系の“A24”とブラス系の“A09”“B46”によるトリプルボイスです。
INT 54	Honky Tonk Piano	“ホンキートンクピアノ”とは調律の狂ったピアノのこと。この効果を出すために、さまりをまなしていません。ピアノをひくアルを組み合わせて2～3本の弦が鳴っています。ピアノをひく鍵盤を弾いても2～3本の弦が鳴っています。
INT 55～INT 64には何も入っていません。（イニシャライズされている状態です） ストアやボイスエディット、パフォーマンスエディットにご利用ください。		

イニシャライズされたパフォーマンスの設定

TX802 PERFORMANCE DATA						Date Song	/ /	
Performance name	Init perf							
Tone generator	1	2	3	4	5	6	7	8
Voice number	I01	←	←	←	←	←	←	←
Voice name								
Receive channel (altr)	1	←	←	←	←	←	←	←
EG forced damp	off	←	←	←	←	←	←	←
Volume	90	←	←	←	←	←	←	←
Output assign	I + II	←	←	←	←	←	←	←
Note limit low	C-2	←	←	←	←	←	←	←
Note limit high	G 8	←	←	←	←	←	←	←
Midi note shift	0	←	←	←	←	←	←	←
Micro tuning (key)	P01	←	←	←	←	←	←	←
Detune	0	←	←	←	←	←	←	←
Comment								

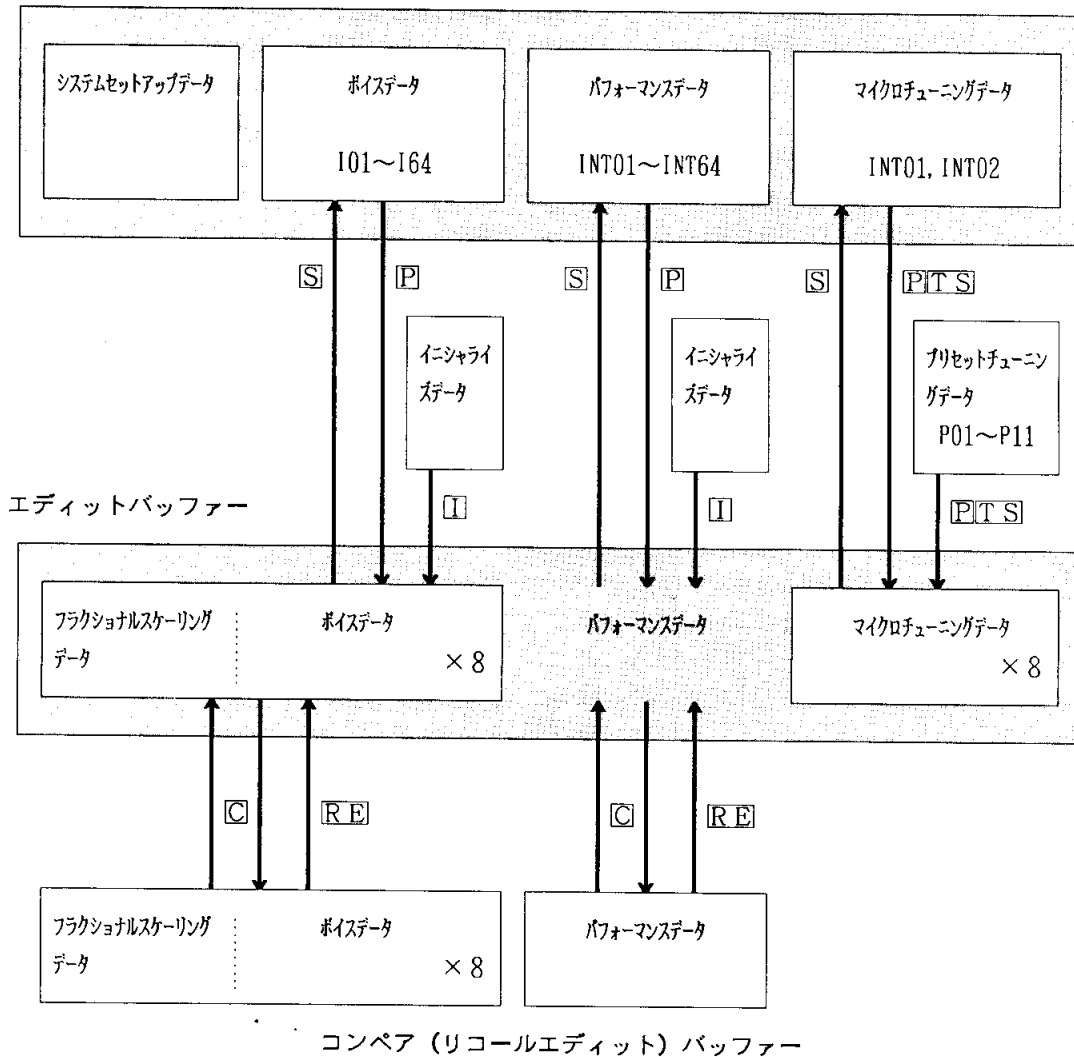
イニシャライズされたボイスの設定

TX802 VOICE DATA										Date	/ /		
Voice name		Init voice											
Algorithm		Oscillator	OP	1	2	3	4	5	6	Key mode		Foot control	
Alg	1	Mode		r	r	r	r	r	r	P/M	poly	Pmod	0
Fbl	0	C/F		1	1	1	1	1	1	Pitch bend		Amod	0
O. sync	on	Detune		0	0	0	0	0	0	Range	2	EGbias	0
Trans.	C3	EG	OP	1	2	3	4	5	6	Step	0	Volume	0
LFO		RS		0	0	0	0	0	0	Random pitch		Breath control	
Wave	tri.	R1		99	99	99	99	99	99	Depth	0	Pmod	0
Speed	35	R2		99	99	99	99	99	99	Portamento		Amod	0
Delay	0	R3		99	99	99	99	99	99	Mode	ret.	EGbias	0
Mode	sin.	R4		99	99	99	99	99	99	Step	0	Pbias	0
Pmd	0	L1		99	99	99	99	99	99	Time	0	After touch	
Amd	0	L2		99	99	99	99	99	99	Mod wheel		Pmod	0
Sync	on	L3		99	99	99	99	99	99	Pmod	0	Amod	0
Pitch EG		L4		0	0	0	0	0	0	Amod	0	EGbias	0
Range	8oct	Output level	OP	1	2	3	4	5	6	EGbias	0	Pbias	0
Vel.	off	Scaling mode		n	n	n	n	n	n	Comment			
Rs	0	Output level		99	0	0	0	0	0				
R1	99	Ld		0	0	0	0	0	0				
R2	99	Lc		-L	-L	-L	-L	-L	-L				
R3	99	Bp		C3	C3	C3	C3	C3	C3				
R4	99	Rc		-L	-L	-L	-L	-L	-L				
L1	50	Rd		0	0	0	0	0	0				
L2	50	Sensitivity	OP	1	2	3	4	5	6				
L3	50	Velocity		0	0	0	0	0	0				
L4	50	Ams		0	0	0	0	0	0				
		Pms		3									

メモリーの構成

次の図はTX802本体内のデータの動きを表したものです。

メモリー

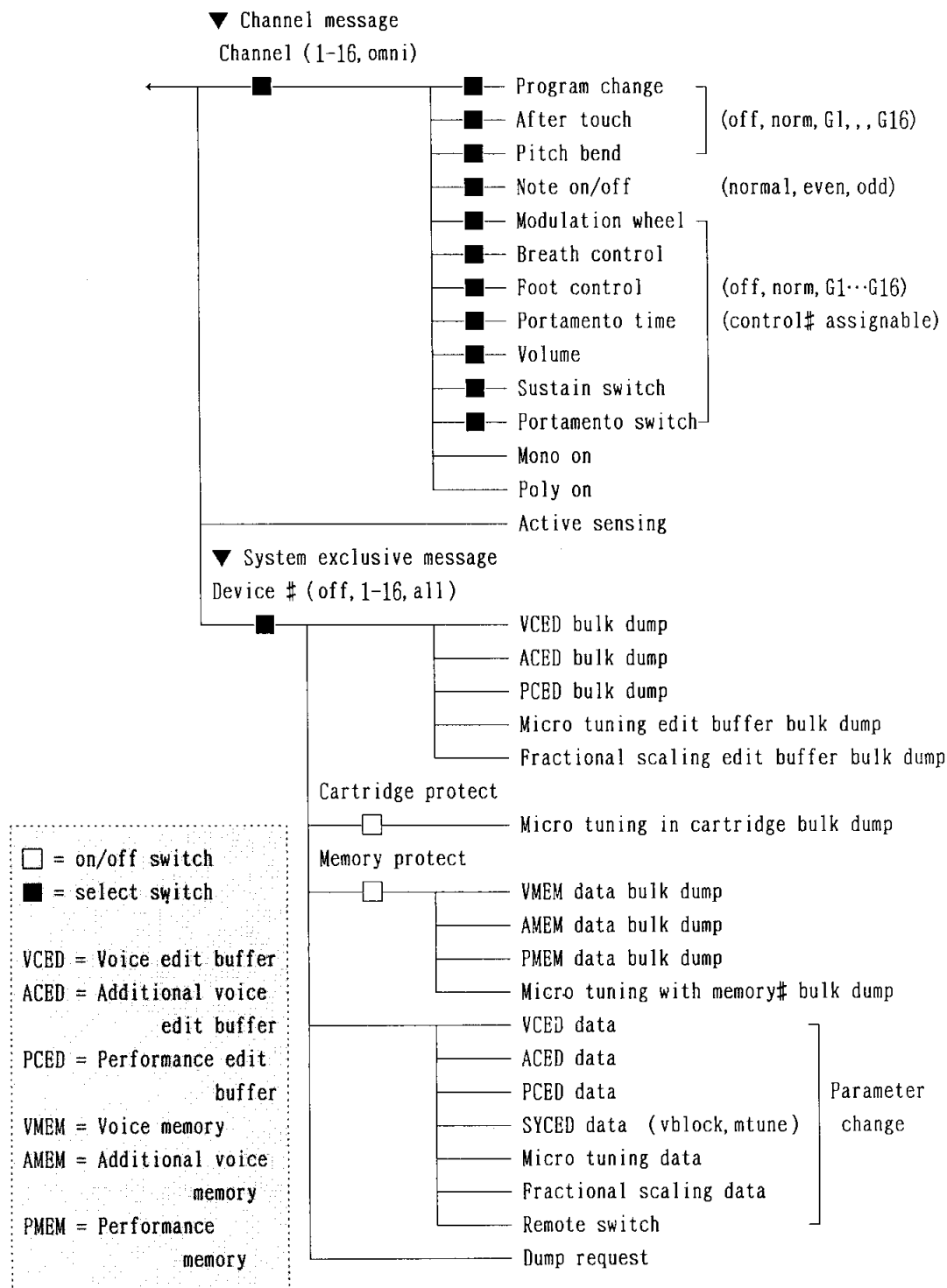


[S]: ストア [P]: プレイ [C]: コンペア [RE]: リコールエディット
 [I]: イニシャライズ [TS]: マイクロチューニングセレクト

- カートリッジのセーブ (Save) は上図の「メモリー」の部分保存します。
- 鍵盤を弾いたときに出る音は、「エディットバッファ」内のデータで構成されたものです。

MIDIデータフォーマット

●MIDI受信ブロック図



MIDIデータフォーマット

●チャンネル メッセージ

1. ノートオン/オフ

受信ノート範囲 = C-2...G8

受信ベロシティ範囲 = 0...127 (ノートオンのみ)

◆ ノートオンのベロシティ=0 はノートオフとして扱う。

◆ システムセットアップにて、次の設定が可能。

normal = 全てのノートナンバーについて受信。

odd = 奇数のノートナンバーのみ受信。

even = 偶数のノートナンバーのみ受信。

2. コントロールチェンジ

下表のパラメータをMIDIによってコントロールできるが、入力されたコントロールチェンジデータをどのパラメータにアサインするかは、自由に設定できる。ただし、入力できるコントロールナンバーは、次の範囲である。システムセットアップにて受信のon/offが可能

0...31 , 64...121

コントロールナンバー	parameter	data range
1	Modulation wheel	0...127
2	Breath control	0...127
4	Foot control	0...127
5	Portament time	0...127
7	Volume	0...127
64	Sustain switch	0 , 127
65	Portamento switch	0 , 127

※コントロールナンバーはイニシャライズ時の値である。

3. プログラムチェンジ

プログラムチェンジを受信したとき、本機は以下のような動作をする。

(1) "Performance select channel by program change"がoff以外の時

a) chが一致しているかall であれば、パフォーマンスを変更する。

b) a)でなければ、(2)の処理をする。

(2) "Performance select channel by program change"がoff の時

a) chが一致している音源(TG1-8) があれば、その音源のボイスを変更する。

b) a)でなければ、何もしない。

◆ システムセットアップにて、受信のon/offが可能。

MIDIデータフォーマット

4. アフタータッチ

アフタータッチは、チャンネルプレッシャー (DnH) のみ受ける。

◆ システムセットアップにて、受信のon/offが可能。

5. ピッチベンド

ピッチベントの受信は、MSB 側のみで動作する。

◆ システムセットアップにて、受信のon/offが可能。

6. チャンネルモードメッセージ

チャンネルモードメッセージの受信は、

Mono mode on (ctl# = 126)

Poly mode on (ctl# = 127) のみ受信する。

ただし受信ch、受信条件は、グローバルチャンネル以外はチャンネルボイスメッセージと全く同じである。

● システムエクスルーシブメッセージ

1. パラメーターチェンジ

本機は以下の7種類のパラメーターチェンジを受ける。また、全て受信のみであり送信は行わない。

パラメータ受信時は、LCDがそのパラメータをエディットする画面となる。

7)のリモートスイッチは、スイッチを押したときの画面と同じ。

- 1) VCED parameter change
- 2) ACED parameter change
- 3) PCED parameter change
- 4) SYCED parameter change
- 5) Micro tuning parameter change
- 6) Fractipnal scaling parameter change
- 7) Remote switch parameter change

パラメーターチェンジのフォーマットは以下の通りである。

★ 1) 2) 3) 4) 7) のフォーマット

11110000 f0H

01000011 43H

0001nnnn nnnn = device #

0ggggghh ggggg = group number , hh = subgroup number

0ppppppp ppppppp = parameter number

0ddddddd ddddddd = data

11110111 f7H

∴ ggggg, hh, ppppppp, ddddddd については各項目を参照のこと。

★ 5) のフォーマット …… (5)を参照のこと。

★ 6) のフォーマット …… (6)を参照のこと。

(1) VCED parameter change

ggggg = 00000 (0)

hh = 00 (0)

VCED (Voice edit buffer)のデータを1パラメーター毎に変更するメッセージである。

PPPPPPP(parameter number), ddddddd(data) については、付表Bを参照のこと。

(2) ACED parameter change

ggggg = 00110 (6)

hh = 00 (0)

ACED (Additional voice edit buffer) のデータを1パラメーター毎に変更するメッセージである。

ppppppp(parameter number), ddddddd(data)については、付表Bを参照のこと。

(3) PCED parameter change

ggggggg = 00110 (6)

hh = 10 (2)

PCED (Performance edit buffer)のデータを1パラメーター毎に変更するメッセージである。

ppppppp(parameter number), ddddddd(data)については付表Bを参照のこと。

(4) SYCED parameter change

システムデータでパラメーターチェンジが有効なのは、Voice data receive blockと Master tuning のみである。

★ Voice data receive block

ggggg = 00110 (6)

hh = 01 (1)

ppppppp = 4d

ddddddd = 0 (block = 1-32)

= 1 (block = 33-64)

このパラメーターチェンジのみ、受信時に画面変化しません。

★ Master tuning

ggggg = 00001 (1)

hh = 00 (0)

ppppppp = 40

ddddddd = 0-127

MIDIデータフォーマット

(5) Micro tuning parameter change

★ フォーマット

```
11110000    f0H
01000011    43H
0001nnnn    nnnn    = device #
0gggggghh    gggggg    = 00110 (6) , hh = 00 (0)
0pppppppp    pppppppp = 1111110 (126)
0kkkkkkkk    kkkkkkkk = key number
0hhhhhhh    hhhhhhhh = data (high)
01111111    1111111 = data (low)
11110111    f7H
```

Micro tuning edit bufferのデータを1キー毎に変更するメッセージである。

(6) Fractional scaling parameter change

★ フォーマット

```
11110000    f0H
01000011    43H
0001nnnn    nnnn    = device #
0gggggghh    gggggg    = 00110 (6) , hh = 00 (0)
0pppppppp    pppppppp = 1111111 (127)
00000ooo    ooo      = operator number
00kkkkkk    kkkkkk    = key group number
0hhhhhhh    hhhhhhhh = data (high)
01111111    1111111 = data (low)
11110111    f7H
```

Fractional scaling edit bufferのデータを1オペレータ、1キーグループ毎に変更するメッセージである。

(7) Remote switch parameter change

```
ggggg    = 00110 (6)
hh        = 11      (3)
ddddddd = don't care
```

全てのパネルスイッチにたいしリモートコントロールが可能であり、そのスイッチを押すことと同等の効果をもつメッセージである。

ppppppp (switch number)については、付表Bを参照のこと。

2. ボイスデータバルクダンプ

ボイスデータのバルクダンプには、以下の2種類がある。

- (1) Voice edit buffer bulk dump
- (2) Voice memory bulk dump

- ◆ 各バルクダンプデータのフォーマット詳細については、付表Aを参照のこと。
- ◆ device # = allに設定されているときは、device # = 1にて送信する。

(1) Voice edit buffer bulk dump

ボイスエディットバッファにあるデータを送受信する。

a) 送信

送信は以下の順番でデータが送られる。

- 1) Fractional scaling edit buffer bulk data
- 2) ACED (Additional voice edit buffer) bulk data
- 3) VCED (voice edit buffer) bulk data

b) 受信

上記 1) 2) 3) を受信する。

ただしVCED受信において、ACEDを受信した直後にVCEDを受けた時以外は、Additional voice edit bufferはイニシャライズされる。

(2) Voice memory bulk dump

インターナルメモリーにある64個のボイスデータのうち、1-32、33-64 のどちらかを送受信する。

a) 送信

送信は以下の順番でデータが送られる。

- 1) Voice block parameter changer
- 2) Fractional scaling in cartridge bulk data
- 3) AMEM (Additional voice memory) bulk data
- 4) VMEM (voice memory) bulk data

◆ ただし、2)はカートリッジがセットされている場合のみ送信される。

b) 受信

上記 1) 2) 3) を受信する。

ただしVMEM受信において、AMEMを受信した直後にVMEMを受けた時以外は、Additional voice memory はイニシャライズされる。

MIDIデータフォーマット

3. パフォーマンスデータバルクダンプ

パフォーマンスデータのバルクダンプには、以下の2種類がある。

- (1) Performance edit buffer bulk dump
- (2) Performance memory bulk dump

(1) Performance edit buffer bulk dump

パフォーマンスエディットバッファにあるデータを送受信する。

◆ バルクダンプデータのフォーマット詳細については、付表Aを参照のこと。

(2) Performance memory bulk dump

インターナルメモリーにある64個のパフォーマンスデータを送受信する。

◆ バルクダンプデータのフォーマット詳細については、付表Aを参照のこと。

4. システムセットアップデータバルクダンプ

本機のシステムセットアップデータを送受信する。

- ◆ システムセットアップデータとは、システムセットアップモードにおいて設定した全てのデータを指す。(ただし、マイクロチューニングメモリーデータはマイクロチューニングメモリーナンバーにて送受信するため、除かれている。)
- ◆ バルクダンプデータのフォーマット詳細については、付表Aを参照のこと。

5. マイクロチューニングデータバルクダンプ

マイクロチューニングデータのバルクダンプには、以下の3種類がある。

(1) Micro tuning edit buffer bulk dump

マイクロチューニングエディットバッファにあるデータを送受信する。

(2) Micro tuning with memory# bulk dump

インターナルマイクロチューニングメモリーにある1-2のマイクロチューニングデータを、メモリーナンバーを付けてデータを送受信する。

(3) Micro tuning in cartridge bulk dump

カートリッジのマイクロチューニングメモリーにある63個のマイクロチューニングデータをまとめて送受信する。

◆ 各バルクダンプデータのフォーマット詳細については、付表Aを参照のこと。

6. ダンプリクエスト

全てのバルクダンプについて、ダンプリクエストが可能である。

◆ Dump Request Messages	
★ VCED	f0, 43, 2n, 00, f7
★ VMEM	f0, 43, 2n, 09, f7
★ ACED	f0, 43, 2n, 05, f7
★ AMEM	f0, 43, 2n, 06, f7
★ PCED	f0, 43, 2n, 7e, LM__8952PE, f7
★ PMEM	f0, 43, 2n, 7e, LM__8952PM, f7
★ system setup	f0, 43, 2n, 7e, LM__8952S_, f7
★ micro tuning edit buffer	f0, 43, 2n, 7e, LM__MCRYE_, f7
★ micro tuning internal memory	f0, 43, 2n, 7e, LM__MCRYMx, f7
★ micro tuning cartridge data	f0, 43, 2n, 7e, LM__MCRYC_, f7
★ fractional scaling edit buffer	f0, 43, 2n, 7e, LM__FKSYE_, f7
★ fractional scaling cartridge data	f0, 43, 2n, 7e, LM__FKSYC_, f7

MIDIデータフォーマット

- システムコモンメッセージ (受信のみ)

ステータス f1...f7 はステータスとして内部に登録する以外は何もしない。

- システムリアルタイムメッセージ (受信のみ)

1. ステータス f8...fd, ff

解読後、何もしない。

2. ステータス fe

一度feを受信後、約300msec 以上、MIDIからの信号が来ない場合はMIDIの受信バッファをクリアーし、key onが残っていれば offの処理を行う。

付表A Detail of Bulk Dump Format

★ VCED

f = 0
data size = 155 (\$009b)
data format = 7bit binary
total bulk size = 155+8 = 163
f0, 43, 0n, 00, 01, 1b, <VCED data>, sum, f7

★ VMEM

f = 9
data size = 128x32 = 4096 (\$1000)
data format = 7bit binary
total bulk size = 4096+8 = 4104
f0, 43, 0n09, 20, 00, <VMEM data>, sum, f7

★ ACED

f = 5
data size = 49 (\$0031)
data format = 7bit binary
total bulk size = 49+8 = 57
f0, 43, 0n, 05, 00, 31, <ACED data>, sum, f7

★ AMEM

f = 6
data size = $35 \times 32 = 1120$ (\$460)
data format = 7bit binary
total bulk size = $1120 + 8 = 1128$
f0, 43, 0n, 06, 08, 60, <AMEM data>, sum, f7

★ PCED

f = 126 LM__8952PE
data size = $116 \times 2 + 10 = 242$ (\$00e8)
data format = ascii hexadecimal
total bulk size = $258 + 8 = 266$
f0, 43, 0n, 7e, 01, 68, LM__8952PE, <PCED data>, sum, f7

★ PMEM

f = 126 LM__8952PM
block division = 64
data size = $10 + 84 \times 2 = 178$ (\$00a8) / block
data format = ascii hexadecimal
total bulk size = $4 + (178 + 3) \times 64 + 1 = 11589$
f0, 43, 0n, 7e,
01, 28, LM__8952PM, <PMEM data 1>, sum
01, 28, LM__8952PM, <PMEM data 2>, sum
.....
01, 28, LM__8952PM, <PMEM data 64>, sum, f7

★ system setup

f = 126 LM__8952S_
data size = $10 + 263 = 273$ (\$0111)
data format = 7bit binary
total data size = $273 + 8 = 281$
f0, 43, 0n, 7e, 02, 11, LM__8952S_, <system data>, sum, f7

★ micro tuning edit buffer

f = 126 LM__MCRYE
data size = $256 + 10 = 266$ (\$010a)
data format = 7bit binary
total data size = 274
f0, 43, 0n, 7e, 02, 0a, LM__MCRYE , <MCR EDIT buf>, sum, f7

MIDIデータフォーマット

★ micro tuning internal memory

f = 126 LM__MCRYEx (x=0,1 ;7bit binary)
data size = 256+10 = 266 (\$010a)
data format = 7bit binary
total data size = 274
f0, 43, 0n, 7e, 02, 0a, LM__MCRYEx , <MCR INT1 data>, sum, f7
f0, 43, 0n, 7e, 02, 0a, LM__MCRYEx , <MCR INT2 data>, sum, f7

★ micro tuning cartridge data

f = 126 LM__MCRYC_
block division = 63
data size = 256+10 = 266 (\$010a) / block
data format = 7bit binary
total bulk size = 4+(266+3)x63+1 = 16952
f0, 43, 0n, 7e,
02, 0a, LM__MCRYC_ , <MCR CRT1 data>, sum
02, 0a, LM__MCRYC_ , <MCR CRT2 data>, sum
.....
02, 0a, LM__MCRYC_ , <MCR CRT63 data>, sum f7

★ fractional scaling edit buffer

f = 126 LM__FKSYE_
data size = 246x2+10 = 502 (\$01f6)
data format = ascii hexadecimal
total bulk size = 502+8 = 510
f0, 43, 0n, 7e, 03, 76, LM__FKSYE_ , <PKS edit buf>, sum, f7

★ fractional scaling cartridge data

f = 126 LM__FKSYC_
block division = 32
data size = 10+246x2 = 502 (\$01f6) / block
data format = ascii hexadecimal
total bulk size = 4+(502+3)x32+1 = 16165
f0, 43, 0n, 7e,
02, 76, LM__FKSYC_ , <PKS CRT1/32 data>, sum
02, 76, LM__FKSYC_ , <PKS CRT2/33 data>, sum
.....
02, 76, LM__FKSYC_ , <PKS CRT32/64 data>, sum f7

MIDIデータフォーマット

付表B Parameter List of Parameter Change

VCED parameter change

g	h	p	Parameter	notes	Data
0	0	0	R1	EG rate1	0 - 99
		1	R2	EG rate2	0 - 99
		2	R3	EG rate3	0 - 99
		3	R4	EG rate4	0 - 99
		4	L1	EG level1	0 - 99
		5	L2	EG level2	0 - 99
		6	L3	EG level3	0 - 99
		7	L4	EG level4	0 - 99
		8	BP	break point	0 - 99
		9	LD	left depth	0 - 99
		10	RD	right depth	0 - 99
		11	LC	left curve	0 - 3
		12	RC	right curve	0 - 3
		13	RS	rate scaling	0 - 7
		14	AMS	Amplitude modulation sensitivity	0 - 3
		15	TS	touch sensitivity	0 - 7
		16	TL	level	0 - 99
		17	PM	oscillator mode	0 - 1
		18	PC	oscillator coarse	0 - 31
		19	PF	oscillator fine	0 - 99
		20	PD	detune	0 - 14
0	1	126	PR1	PEG rate1	0 - 99
		127	PR2	PEG rate2	0 - 99
		0	PR3	PEG rate3	0 - 99
		1	PR4	PEG rate4	0 - 99
		2	PL1	PEG level1	0 - 99
		3	PL2	PEG level2	0 - 99
		4	PL3	PEG level3	0 - 99
		5	PL4	PEG level4	0 - 99
		6	ALS	algorithm selector	0 - 31
		7	FBL	feedback level	0 - 7
		8	OPI	oscillator phase initialize	0 - 1
		9	LFS	LFO speed	0 - 99
		10	LFD	LFO delay time	0 - 99
		11	LPMD	LFO pitch mod.depth	0 - 99
		12	LAMD	LFO amplitude mod.depth	0 - 99
		13	LFKS	LFO key sync	0 - 1
		14	LFW	LFO wave	0 - 5
		15	LPMS	LFO pitch mod.sensitivity	0 - 7
		16	TRNP	transpose	0 - 48
		17	VNAM1	voice name	} ASCII
		18	VNAM2	voice name	
		19	VNAM3	voice name	
		20	VNAM4	voice name	
		21	VNAM5	voice name	
		22	VNAM6	voice name	
		23	VNAM7	voice name	
		24	VNAM8	voice name	
		25	VNAM9	voice name	
		26	VNAM10	voice name	
		27	OPE	operator enable b5:OP1,--,b0:OP6	0 - 5
		28	OPSEL	operator select (0:OP6-5:OP1)	

MIDIデータフォーマット

ACED parameter change

g	h	p	Parameter	notes	Data
6	0	0	SCM	OP6 scaling mode	0 - 1
		1	SCM	OP5 scaling mode	0 - 1
		2	SCM	OP4 scaling mode	0 - 1
		3	SCM	OP3 scaling mode	0 - 1
		4	SCM	OP2 scaling mode	0 - 1
		5	SCM	OP1 scaling mode	0 - 1
		6	AMSN	OP6 amplitude modulation sensitivity	0 - 7
		7	AMSN	OP5 amplitude modulation sensitivity	0 - 7
		8	AMSN	OP4 amplitude modulation sensitivity	0 - 7
		9	AMSN	OP3 amplitude modulation sensitivity	0 - 7
		10	AMSN	OP2 amplitude modulation sensitivity	0 - 7
		11	AMSN	OP1 amplitude modulation sensitivity	0 - 7
		12	PEGR	pitch EG range	0 - 3
		13	LTRG	LF0 key trigger mode	0 - 1
		14	VPSW	velocity pitch sensitivity	0 - 1
		15	PMOD	mono/poly	0 - 1
		16	PBR	pitch bend range	0 - 12
		17	PBS	pitch bend step	0 - 12
		**	****		
		19	RNDP	random pitch depth	0 - 7
		20	PORM	portamento mode	0 - 1
		21	PQNT	portamento step	0 - 12
		22	POS	portamento time	0 - 99
		23	MWPM	modulation wheel pitch modulation	0 - 99
		24	MWAM	amplitude modulation	0 - 99
		25	MWEB	EG bias	0 - 99
		26	FCPM	foot controller pitch modulation	0 - 99
		27	FCAM	amplitude modulation	0 - 99
		28	FCBB	EG bias	0 - 99
		29	FCUL	volume	0 - 99
		30	BCPM	breath controller pitch modulation	0 - 99
		31	BCAM	amplitude modulation	0 - 99
		32	BCEB	EG bias	0 - 99
		33	BCPB	pitch bias	0 - 100
		34	ATPM	after touch pitch modulation	0 - 99
		35	ATAM	amplitude modulation	0 - 99
		36	ATEB	EG bias	0 - 99
		37	ATPB	pitch bias	0 - 100
		38	PEGS	pitch EG rate scaling	0 - 7

Others

g	h	p	Parameter	notes	Data
1	0	64	MTUNING	master tuning	0 - 127
6	1	77	VBLOK	voice data receive block	0 - 1

Performance parameter change

g	h	p	Parameter	notes	Data
6	2	0-7	VCHOF5	voice channel offset	0 - 7
		8-15	RXCH	MIDI receive channel (16:omni on)	0 - 16
		16-23	VNUM	voice number (2 bytes)	0 - 255
				0-63:internal 64-127:cartridge	
				128-191:preset A 192-255:preset B	
		24-31	DETUNE	detune 7:center	0 - 14
		32-39	OUTVOL	output volume	0 - 99
		40-47	OUTCH	output assign	0 - 3
				0:off 1:1 2:11 3:1+11	
		48-55	NLMTL	note limit low (C-2...G8)	0 - 127
		56-63	NLMTH	note limit high (C-2...G8)	0 - 127
		64-71	NSHFT	note shift	0 - 48
				24:center +-2octave	
		72-79	FDAMP	EG forced damp (0:off,1:on)	0 - 1
		80-87	KASG	key assign group	0 - 1
		88-95	MITNUM	micro tuning table number (2 bytes)	0...254
		96-115	PNAM	performance name	ASCII

MIDIデータフォーマット

remote switch

g	h	p	switch
6	3	64	POWER ON
		65	10 KEY#0
		66	10 KEY#1
		74	10 KEY#9
		75	CURSOR LEFT
		76	CURSOR RIGHT
		77	ENTER
		78	-1
		79	+1
		80	MINUS
		81	PERFORMANCE SELECT
		82	VOICE SELECT
		83	SYSTEM SETUP
		84	UTILITY
		85	PERFORMANCE EDIT
		86	VOICE EDIT (I)
		87	VOICE EDIT (II)
		88	STORE
		89	TG 1
		96	TG 8

Function ...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default		1 - 16	1 - 16	memorized
Channel Changed		1 - 16	1 - 16	
Mode Default		x	1, 2, 3, 4	memorized
Mode Messages			POLY, MONO(M=1)	
Mode Altered		XXXXXXXXXXXXXXXX	x	
Note		x	0 - 127	
Number : True voice		XXXXXXXXXXXXXXXX	0 - 127	
Velocity Note ON		x	o v=1-127	
Velocity Note OFF		x	x	
After Key's		x	x	
Touch Ch's		x	o	
Pitch Bender		x	o 0-12 semi X2:7 bit resolution	
Control Change	1	x	o	X1 : Modulation wheel
	2	x	o	X1 : Breath control
	4	x	o	X1 : Foot control
	5	x	o	X1 : Portamento time
	7		o	X1 : Volume
	64	x	o	X1 : Sustain sw
	65	x	o	X1 : Portamento sw
Prog		x	o 0 - 127	if prgram change
Change : True #		XXXXXXXXXXXXXXXX	0 - 127 X3	sw is on.
System Exclusive		o X4	o X4	
System : Song Pos		x	x	
System : Song Sel		x	x	
Common : Tune		x	x	
System : Clock		x	x	
Real Time : Commands		x	x	
Aux : Local ON/OFF		x	x	
Aux : All Notes OFF		x	o (126,127)	
Mes- : Active Sense		x	o	
sages:Reset		x	x	
Notes: X1 = receive if control change switch is on.				
X2 = receive if pitch bend switch is on.				
X3 = I1-64 (0-63) , C1-64 (64-127) for Performance.				
I1-64 , C1-64 , A1-64 , B1-64 (0-63) for Voice.				
X4 = Bulk dump & param. change of Voice,Perf,System,mtune,frac.				
Mode 1	: OMNI ON, POLY	Mode 2	: OMNI ON, MONO	o : Yes
Mode 3	: OMNI OFF, POLY	Mode 4	: OMNI OFF, MONO	x : No

- 音源方式、発音数

6 オペレータ、32 アルゴリズム、FM音源×8、独立出力付き

同時発音数 最大16音

同時発音可能な音色数 最大8音色

キーアサイン方式 後着優先

- 外形寸法、重量

ラックマウント方式 2 U

幅 480mm×奥行 287mm×高さ 94.5 mm

重量 4.9kg

- 定格消費電力

100V 8W

- 内部メモリー

64パフォーマンスメモリー

64インターナルボイスメモリー

128プリセットボイスメモリー（読み出し専用）

カートリッジにより、さらに64パフォーマンス、64ボイスの使用が可能

- パネル表示器、パネルキー

40文字×2行 バック照明付き LCD

tone generator ON/OFF および parameter select キー（8個、LED 付き）

mode select および store/compare キー

data entry キー（10キー、エンターキー、カーソルキー、+1 / -1 キー）

power switch

- カートリッジ

4KByte (RAM1:読み出し専用)

16KByte (RAM4)

その他、1バンク16KByte として16バンクまでのRAMまたはROMカートリッジの使用可能

- 出力端子

individual output 1 ~ 8

mixed output I、II

phones (mixed output I、II をそれぞれ L、Rに出力)

midi in、midi out、midi thru

- 付属品

MIDIケーブル MIDI03×2

パフォーマンスデータblankチャート

パフォーマンスのデータを紙上で保存しておきたい場合に、この表をコピーしてお使いください。

TX802 PERFORMANCE DATA						Date	/ /	
Per formance name								
Tone generator	1	2	3	4	5	6	7	8
Voice number								
Voice name								
Receive channel (altr)								
EG forced damp								
Volume								
Output assign								
Note limit low								
Note limit high								
Midi note shift								
Micro tuning (key)								
Detune								
Comment								

ボイスデータブランクチャート

ボイスのデータを紙上で保存しておきたい場合に、この表をコピーしてお使いください。

TX802 VOICE DATA														Date		/ /	
Voice name																	
Algorithm		Oscillator	OP	1	2	3	4	5	6	Key mode		Foot control					
Alg		Mode								P/M		Pmod					
Fbl		C/F								Pitch bend		Amod					
O. sync		Detune								Range		EGbias					
Trans.		EG	OP	1	2	3	4	5	6	Step		Volume					
LFO		RS								Random pitch		Breath control					
Wave		R1								Depth		Pmod					
Speed		R2								Portamento		Amod					
Delay		R3								Mode		EGbias					
Mode		R4								Step		Pbias					
Pmd		L1								Time		After touch					
Amd		L2								Mod wheel		Pmod					
Sync		L3								Pmod		Amod					
Pitch EG		L4								Amod		EGbias					
Range		Output level	OP	1	2	3	4	5	6	EGbias		Pbias					
Vel.		Scaling mode								Comment							
Rs		Output level															
R1		Ld															
R2		Lc															
R3		Bp															
R4		Rc															
L1		Rd															
L2		Sensitivity	OP	1	2	3	4	5	6								
L3		Velocity															
L4		Ams															
		Pms															

索引

- | | |
|--------------------|-----|
| ●索引 | 220 |
| ●ディスプレイからの索引 | 225 |

索引

■■■■■■■■■■ あ ■■■■■■■■■■

アウトプットレベル	74, 89
アサインテーブル	143
アフタータッチ	115, 139
アルゴリズム	73
アルゴリズムセレクト	81
EGバイアス	110
EGフォースドダンプ	58
イニシャライズ	50, 78, 158, 159
インターナルチューニング	61
インターナルパフォーマンス	26
インターナルボイス	24
エクスクルーシブデータ	144
エクスクルーシブデバイスナンバー	144
エラーメッセージ	179
エンベロープジェネレータ	74, 86
オシレータシンク	81
オシレータモード	84
音の高さ	74
オベレータ	72
オベレータセレクト	80
オベレータのオン/オフ	83
オルタネイティブ・アサイン	56
音源w/、w/o、パラメータセレクトキー	9
音源別アウト端子	12, 186

■■■■■■■■■■ か ■■■■■■■■■■

カーソル	37
カートリッジ	182
カートリッジアダプター	183
カートリッジスロット	9
カートリッジチューニング	61
カートリッジのバンク番号	145
カートリッジパフォーマンス	26
カートリッジボイス	24
ガイドシート	10
キーシンク	101

キースプリット	60, 127
キーモード	105
キャリア	73
鋸歯状波 I	98
鋸歯状波 II	98
矩形波	98
グローバルチャンネル	137
コピー	161
コントロールチェンジモード	136
コントロールナンバー	141
コンペア	41

■■■■■■■■■■ さ ■■■■■■■■■■

三角波	98
サンプル&ホールド	98
シーケンサー	166
システムセットアップモード	136
数字キー	10
ステップ	106, 108
ステレオデチューン	124
ストア	185
正弦波	72, 98
セーブ	154, 185
粗調整	84

■■■■■■■■■■ た ■■■■■■■■■■

チャンネル	165
ディスプレイ	9
ディレイ	99
データの送信	151
デチューン	64, 84
電源プラグ	12
トランスポーズ	81
トリガーモード	99

■■■■■■■■■■ ち ■■■■■■■■■■

ノートシフト	61
--------------	----

ノートのオン/オフ	140
ノートリミット	60
ノーマルスケーリング	91

ポルタメント	108
--------------	-----

■■■■■■■■■■ ま ■■■■■■■■■■

■■■■■■■■■■ め ■■■■■■■■■■

バックアップバッテリー	8
パフォーマンス	26
パフォーマンスエディットモード	55
パフォーマンスセレクトチャンネル	142
パフォーマンスセレクトモード	30
パフォーマンスネーム	64
パワースイッチ	9
バンク	183
微調整	84
ピッチエンベロープジェネレータ	103
ピッチベンド	106, 139
フィードバックレベル	74, 81
フォーマット	157, 184
フットコントロール	111
フラクショナルレベルスケーリング	93
プリセットチューニング	61
プリセットボイス	24, 192
プリセットボイスA	24
プリセットボイスB	24
プレイ	185
プレスコントロール	113
プログラムチェンジ信号	138
プログラムチェンジモード	138
ヘッドホンジャック	9
ペロシティ	96
ボイス	24
ボイスエディットモード (I)	79
ボイスエディットモード (II)	105
ボイス構成	53
ボイスセレクトモード	51
ボイスデータ受信ブロック	144
ボイスネーム	82
保存	116, 147
ボリューム	59

マイクロチューニング	146
マイクロチューニング選択	61
マスターチューニング	150
ミックスアウト端子	12
ミックスアウト端子選択	59
MIDI受信チャンネル	55, 165
MIDI信号の受信スイッチ	136
MIDI送信チャンネル	165
MIDI端子	12
MIDIデータフォーマット	200
メモリーの構成	199
メモリープロテクト	150
モード	28
モードセレクトキー	10
文字	40
モジュレーションホイール	109
モジュレータ	73

■■■■■■■■■■ や ■■■■■■■■■■

ユーティリティーモード	151
ユニゾン	124

■■■■■■■■■■ ら ■■■■■■■■■■

RAM カートリッジ	182
ランダムピッチ	107
リコール	160
レイトスケーリング	86
レベルスケーリングモード	90
レンジ	106
ロード	155, 185
ROM カートリッジ	182

索引

■■■■■■■■■■ A ■■■■■■■■■■

After touch	115, 139
aftr	115
alg	81
Algorithm	81
Alternative assign	56
Amd	100
Amplitude modulation depth	100
Amplitude modulation sensitivity	96
Ams	96

■■■■■■■■■■ B ■■■■■■■■■■

bank	145
bend	106
Bp	91
Break point	91
Breath control	113
brth	113

■■■■■■■■■■ C ■■■■■■■■■■

Cartridge bank select	145
Cartridge performance	26
Cartridge voice	24
Coarse	84
Control change	136
Control number	141
copy	161
Copy operator	161
ctrl	141

■■■■■■■■■■ D ■■■■■■■■■■

Delay	99
Detune	84
dtune	64

■■■■■■■■■■ E ■■■■■■■■■■

eg	86
EG bias	110
EG forced damp	58
ENTER	10
Envelope generator	86

■■■■■■■■■■ F ■■■■■■■■■■

Fbl	81
Fine	84
fingered	108
FKS-Y	157
foot	111
Foot control	111
Format cartidge	157
Fractional level scaling	93
frmt	157
full time	108

■■■■■■■■■■ I ■■■■■■■■■■

iedb	158
INDIVIDUAL OUTPUT	12, 186
Initialize edit buffer	158
Initialize table	159
Internal memory protect	150
Internal performance	26
Internal voice	24
itbl	159

■■■■■■■■■■ K ■■■■■■■■■■

Key mode	105
----------------	-----

■■■■■■■■■■ L ■■■■■■■■■■

L1	87
L2	87

L3	87
L4	87
Lc	91
LCD	9
Ld	91
Left curve	91
Left depth	91
level	89
lfo	98
lmt	60
load	155, 185
Load all data	155
Low Frequency Oscillator	98

■■■■■■■■■■ M ■■■■■■■■■■

Master tuning	150
Micro tuning	61
Micro tuning edit	146
midi	136, 164
MIDI IN, OUT, THRU	12
Midi note shift	61
MIXED OUTPUT I, II	12
Mode	84, 105
MODE SELECT	10
Modulation wheel	109
mted	146
MTT-Y	157
mtt#	61
mtun	150
multi	99

■■■■■■■■■■ N ■■■■■■■■■■

name	64
Normal scaling	91
Note limit	60
Note on/off	140

■■■■■■■■■■ O ■■■■■■■■■■

OPERATOR	72
Operator select	80
opsel	80
osc	83
Osc. sync	81
Oscillator	83
out	59
Output assign	59
Output level	89, 91

■■■■■■■■■■ P ■■■■■■■■■■

peg	103
PERFORM EDIT	55
PERFORM SELECT	30
Perform select assign table	142
Perform select number assign	143
Performance detune	64
Performance name	64
Performance select	142
Performance select channel	142
pfrm	142
PHONES	9
Pitch bend	106, 139
Pitch EG	103
Pitch modulation depth	100
Pitch modulation sensitivity	97
Play	185
Pmd	100
Pms	97
Portamento	108
POWER	9
Preset A	24
Preset B	24
Program change	138
prta	108
prtct	150

索引

■■■■■■■■ R ■■■■■■■■

R1	87
R2	87
R3	87
R4	87
Random pitch Depth	107
Range	106
Rc	91
rc11	160
rcvch	55
Rd	91
Recall edit buffer	160
Receive channel	55
Right curve	91
Right depth	91
Rng	103
rpch	107
Rs	86, 103

■■■■■■■■ S ■■■■■■■■

s/hold	98
save	154, 185
Save all data	154
saw down	98
saw up	98
sens	96
shft	61
sine	98
single	99
Speed	98
square	98
Step	106, 108
Store	185
STORE/COMPARE	41
sus-key p follow	108
sus-key p retain	108
syex	144
sync	101

System exclusive	144
System exclusive device number	144
SYSTEM SETUP	136

■■■■■■■■ T ■■■■■■■■

TONE GENERATOR ON/OFF PARAMETER SELECT...	9
Transmit data	151
Transpose	81
triangle	98
trns	151
TX802	157

■■■■■■■■ U ■■■■■■■■

UTILITY	151
---------------	-----

■■■■■■■■ V ■■■■■■■■

Vel	103
Velocity	96
Voice data receive block	144
VOICE EDIT	79, 105
Voice name	82
VOICE SELECT	51
vol	59
Volume	59

■■■■■■■■ W ■■■■■■■■

Wave	98
wheel	109

索引

ディスプレイからの索引

TX802で表示されるすべてのディスプレイ表示から、参照ページを示します。

パフォーマンスセレクトモード

```
PERFORMANCE INT01<<Hall Orchestra >>
A11 <-- <-- <-- A15 <A15 <A15 <A15
```

30 ページ

ボイスセレクトモード

```
VOICE SELECT <MellowHorn> Rch=omni
A01< <-- <-- <-- <-- <-- <-- <--
```

51 ページ

システムセットアップモード

```
***** SYSTEM SETUP MENU *****
midi ctrl pfrm syex bank mtd mtn prtcl
```

136 ページ

1 midi

```
SYSTEM1> Midi message receive switch
Control change >norm
```

136 ページ

```
SYSTEM1> Midi message receive switch
Program change >norm
```

138 ページ

```
SYSTEM1> Midi message receive switch
After touch >norm
```

139 ページ

```
SYSTEM1> Midi message receive switch
Pitch bend >norm
```

139 ページ

```
SYSTEM1> Midi message receive switch
Note on/off >all
```

140 ページ

2 ctrl

```
SYSTEM2> Control number assign
> 1.Mod. wheel -> >off
```

141 ページ

ディスプレイからの索引

3 p f r m

SYSTEM3> Perform select channel
by program change ▶ 1

142 ページ

SYSTEM3> Perform select assign table ▶ on

142 ページ

SYSTEM3> Perform select number assign
program# 1< --> INT04<

143 ページ

4 s y e x

SYSTEM4> System exclusive device number ▶ off

144 ページ

SYSTEM4> Voice data receive block ▶ 1-32

144 ページ

5 b a n k

SYSTEM5> Cartridge bank select
▶ TX802= 1 >Frac. scaling=2 >M. tuning= 3

145 ページ

6 m t e d

SYSTEM6> Mted B2 — C3 — C#3
Coarse◀Fine< 4949 C3 +0 (5034) 5120

146 ページ

7 m t u n

SYSTEM7> Master tuning ▶ +0

150 ページ

8 p r t c t

SYSTEM8> Internal memory protect ▶ on

150 ページ

ユーティリティモード

```
***** UTILITY MENU *****
trns save load frmt iedb itbl roll copy
```

151 ページ

1 trns

```
UTIL1> Transmit voice edit buffer?
(1)
```

151 ページ

```
UTIL1> Transmit 1-32 voice data?
(2)
```

152 ページ

```
UTIL1> Transmit 33-64 voice data?
(3)
```

152 ページ

```
UTIL1> Transmit performance edit buffer?
(4)
```

152 ページ

```
UTIL1> Transmit 1-64 performance data?
(5)
```

152 ページ

```
UTIL1> Transmit system setup data?
(6)
```

152 ページ

```
UTIL1> Transmit micro tuning edit buf?
(7)
```

152 ページ

```
UTIL1> Transmit micro tuning 1-2 data?
(8)
```

153 ページ

```
UTIL1> Transmit micro tuning cart data?
(9)
```

153 ページ

2 save

```
UTIL2> Save all data to cartridge?
```

154 ページ

3 load

```
UTIL3> Load all data from cartridge
with system?
```

155 ページ

```
UTIL3> Load all data from cartridge
without system?
```

155 ページ

ディスプレイからの索引

4 frmt

UTIL4> Format cartridge ▶Bank01 (TX802)
to TX802 format (TX802)?

157 ページ

UTIL4> Format cartridge ▶Bank01 (TX802)
to Frac scaling (FKS-Y)?

157 ページ

UTIL4> Format cartridge ▶Bank01 (TX802)
to Micro tuning (MTT-Y)?

157 ページ

5 iedb

UTIL5> Initialize perf. edit buffer?

158 ページ

UTIL5> Initialize voice edit buffer?

158 ページ

6 itbl

UTIL6> Initialize control number table?

159 ページ

UTIL6> Initialize program change table?

159 ページ

7 rcll

UTIL7> Recall performance edit buffer?

160 ページ

UTIL7> Recall voice edit buffer?

160 ページ

8 copy

UTIL8> Copy operator ▶OP1 →>OP1?

161 ページ

UTIL8> Copy EG & scaling ▶OP1 →>OP1?

161 ページ

UTIL8> Copy oscillator ▶OP1 →>OP1?

161 ページ

ディスプレイからの索引

パフォーマンスエディットモード

```
***** PERFORMANCE EDIT MENU *****
rcvch vol out lmt shft mtt# dtune name
```

55 ページ

1 rcvch

```
PERF.EDIT1> Receive channel (<Alt> assign)
on ← ← ← 1 ← ← ←
```

55 ページ

```
PERF.EDIT1> EG forced damp
off ← ← ← on ← ← ←
```

58 ページ

2 vol

```
99 ← ← ← 60 ← ← ←
```

59 ページ

3 out

```
PERF.EDIT5> Output assign
I ← I ← II ← ← ←
```

59 ページ

4 lmt

```
PERF.EDIT4> Note limit high
B24 ← ← ← G8 ← ← ←
```

60 ページ

```
PERF.EDIT4> Note limit low
C-24 ← ← ← C3 ← ← ←
```

60 ページ

5 shft

```
PERF.EDIT5> Midi note shift
+04 ← +4 ← +7 ← ← ←
```

61 ページ

6 mtt#

```
PERF.EDIT6> Micro tuning Equal Impr ← ←
P01 ← ← ← P02 ← ← ←
```

61 ページ

7 dtune

```
PERF.EDIT7> Performance detune
04 ← ← ← +2 ← ← ←
```

64 ページ

8 name

```
PERF.EDIT8>
Performance name < >
```

64 ページ

ディスプレイからの索引

ボイスエディットモード (I)

VOICE EDIT (I) MENU < > Rch=omni
opse| alg osc eg level sens lfo peg

79 ページ

2 alg

▶Alg>Fb|>Osc.sync >Transpose >Voice name
16 7 on midC= C3 BRASS 1

81 ページ

3 osc

OP1 Osc ▶Mode >Coarse>Fine >Detune
alg16 111111 ratio 1 40

83 ページ

Osc 1C-r 2M-r 3M-r 4M-r 5M-r 6M-r
▶C>F 1 12 1 1 2 1

83 ページ

4 eg

OP1 EG ▶Re>R1>R2>R3>R4>L1>L2>L3>L4
alg19 111111 3 96 25 25 67 99 75 0 0

86 ページ

EG 1 2 3 4 5 6
Level 1 2 3 4 5 6

86 ページ

5 level

OP6 ▶Mode
normal

89 ページ

OP1 Outlv| ▶Level>Ld >Lc >Bp >Rc >Rd
alg 5 111111 99 0 -11n A-1 -11n 0

89 ページ

OP1 Outlv| Ofst< E24
alg 5 111111 40 195

89 ページ

6 sens

OP1 Sens ▶Velocity >Ams >Pms(all OP)
alg12 111111 0 7 4

96 ページ

7 lfo

LFO ▶Wave>Speed>Delay>Mode>Pmd>Amd>Sync
triangle 35 0 single 0 0 off

98 ページ

8 peg

PEG ▶Rng>Vel>Rs>R1>R2>R3>R4>L1>L2>L3>L4
Boct off 0 94 67 95 60 50 50 50 50

103 ページ

ディスプレイからの索引

ボイスエディットモード (II)

VOICE EDIT (II) MENU < > Rch=omni
mode bend rpch prta wheel foot brth aftr

105 ページ

1 mode

Key mode ▶Poly/Mono
poly

105 ページ

2 bend

Pitch bend ▶Range >Step
2 0

106 ページ

3 rpch

Random pitch ▶Depth
2

107 ページ

4 prta

Portamento ▶Mode >Step >Time
sus-key p retain 0 20

108 ページ

5 wheel

Mod. wheel ▶Pmod >Amod >EGbias
16 20 14

109 ページ

6 foot

Foot control ▶Pmod >Amod >EGbias >Volume
16 20 14 0

111 ページ

7 brth

Breath ctrl ▶Pmod >Amod >EGbias >Pbias
16 20 14 +2

113 ページ

8 aftr

After touch ▶Pmod >Amod >EGbias >Pbias
16 20 14 +2

115 ページ

ストア/コンペアモード

STORE Performance < >
to INT01?

65 ページ

STORE Voice < > to INT01?

116 ページ

STORE Micro tuning table to INT01?

147 ページ

STORE Voice < > to INT01?
-fractional-

120 ページ

サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう /

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(お客様ご相談窓口・お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.(044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバークーポビル2F) TEL.(0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL.(06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(日本楽器高松店内) TEL.(0878) 51-7777 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL.(052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL.(011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目-7(仙台卸商共同配送センター3F) TEL.(0222) 36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.(082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL.(0534) 65-6711

本 社
電 音 サ ー ビ ス 部 〒435 浜松市上西町911
TEL.(0534) 65-1158

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

日本楽器製造株式会社 L M事業本部

本 社	〒430 浜松市中浜町10-1 TEL.(0534) 60-2431
東京事業所	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL.(03) 574-8592
大阪事業所	〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL.(06) 252-5231
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.(052) 201-5145
九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092) 472-2155
札幌営業所	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター TEL.(011) 512-6113
仙台営業所	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL.(0222) 22-6146
広島営業所	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.(082) 244-3744

